

車座トーク（自治会と市長との意見交換会）開催報告

対象地域：花みずき中央自治会

開催場所：花みずき中央自治会館

開催日時：平成 28 年 10 月 14 日（金）19 時 02 分～21 時 00 分

参加者：自治会側【地域住民の方 29 人】

市側【染谷市長、牛尾理事、三浦秘書課長、秋山協働推進課長、駒形戦略推進課係長、山内協働推進課係長、小玉初倉公民館長】

内 容

① 高浦自治会長あいさつ

- ・日ごろ市役所に対して、お聞きしたいことご意見などを、せっかくの機会なのでお聞きしながら話し合いをしていただきたい。

② 市長からの市政報告

■はじめに

- ・今までは『市長と語ろう』ということをやってきたが、呼んでいただくところと呼んでいただけないところがあったため、この車座トークは、市内全ての 68 自治会をまわるといこと実施している。
- ・また、今年と来年の 2 年をかけて次の総合計画（H30～37）の策定作業を行っているが、この他にも、国土利用計画島田市計画や中心市街地活性化基本計画、公共施設再配置計画などの策定もしていく必要があることから、各地域の課題、特色や人材、さらにはどのような取り組みをしているのかを耳で聴き、肌で感じて、それを市政に反映したいということでまわっている。
- ・これからの新たな仕組み、人口減少社会に伴う行政のあり方等についてお話をさせていただくこともこの車座トークの開催目的である。

■花みずき中央自治会の人口、世帯について

- ・花みずき中央自治会の 9 月 30 日現在の世帯数は 1,652 世帯、人口は 4,160 人で、高齢者人口（65 歳以上）は 1,281 人、高齢化率は 30.8%となっている。市の平均が 29.5%、市の平均とほぼ同じとなっている。敬老会（75 歳以上）の方が自治会館にいっぱいになるのもわかるような気がする。15 歳以下の人口は 557 人で人口に占める割合は 13.4%となっている。市の平均は 13.8%なのでこちらも平均的な数値となっている。学校も近い地域で、若い方も住んでいる、島田の中ではいわゆる街中（都会）であるといえる。

■行政や地域が抱える課題等について

- ・島田に限らず、日本中で今、一番課題となっていることは人口減少。2060年どんなに努力しても、40年後には人口は約2割減少するという推計が出ている。少子高齢化が進んでいる中で、子どもを産み育てられる環境を整備し、都会から若者を呼び寄せる施策をしていく必要がある。いわゆる地方創生の取り組みとともに、人口減少に対応した時代になってきている。拡充から縮充の時代に入っていると思っている。
- ・給料も土地の値段も上がらない時代においては、昭和の右肩上がりの時代のような行政の施策も実施していくことは困難となっている。
- ・行政の仕組みを時代にあったものに変えていかなければ、次世代の人たちに豊かな未来を残せないという覚悟を持って市政運営を行っている。
- ・右肩上がりの時代は、市長は自分の任期で何をやるかということが、例えば市長がやったこと、市長は何を造った、市長はこの道を造ったなどというように。しかし、これからの時代の市長は、10年先の島田、20年先の島田のために、今何を選択するかという、そういうことが今の私の役割だと思っている。自分のときだけいいのではない。そのところは完全に、時代が変わったと私は思っているので、10年先にここに暮らす人たちが豊かに暮らせる社会をつくるために、今自分は何を判断するかということが自分の仕事だと思っている。
- ・しかし、税金、人口も減少する中で賢く行政運営する必要がある。何に使わなければいけないかを選択する必要がある。
- ・昭和40年～50年に都市の拡大とともに、多くの公共施設が建設された。市道の延長は1,180kmくらい、橋は1,154橋くらい保有している。施設だけでも267施設(663棟)ある。同時に造ると同時に老朽化する。これからはこうした施設をいかに長寿命化して維持していくかが必要となってくる。
- ・公共事業も、新規の事業を公共事業と言ってきたが、現在は新規の事業が6割、長寿命化が4割くらいとなっている。国も社会保障費等にお金がかかるため、道路の予算は15年くらい前と比較して3分の1になってしまっている。
- ・こうした時代背景の中、どこにポイントをおいて、行政の役割を考えていかなければならない。
- ・政治の根本は、市民が安心、安全にこのまちが大好きだと思いながら暮らせるまちづくりをすること。そのためには、弱い立場にある方たちに配慮した政策をとっていく必要がある。
- ・こうした取り組みには財源も必要であるため、稼ぐまちをつくるということで平成28年度は方針を出して、新東名島田金谷インターチェンジ周辺について整備していく予定である。

■市民会館について

- ・現在、解体は終了して更地になっている。今年度中には舗装をしていきたい。帯桜があるところは、少し広めの帯桜パークのようなものをつくって市民の憩いの場やイベントの場として活用してもらえるようにと考えている。当面の間は、駐車場、賑わい広場、中心市街地の防災の避難地として使っていく予定。
- ・市民会館を建てなおして欲しいという要望はたくさんいただいている。その要望は十分に理解している。
- ・市民会館は県内でも早く建設され、音響設備など立派な建物であった。私たちの誇りでもあった。早くできた分、老朽化も早く耐震性もないことから、

今回解体するという決めた。

- ・市民会館の閉鎖する前の5年間の稼働率を見ると、1年のうちに練習日も含めて、ホールが使われているのは30日くらいとなっている。リハーサルをあわせても年間60日くらいの稼働率であった。
- ・これに対して、同じものをつくるとなると、70～80億円、100億円という事業費になることから、病院建設をまず優先して行うことを選択した。病院に目途が立った段階で、市民会館と市役所（築53年）、おおり（築34年）、建設検討委員会を立ち上げて（病院の設計に目途がたった段階で立ち上げていきたい。）、周辺を一体とした整備について検討する。
- ・複合施設や民間を活用することも方法の一つであると考えている。先日訪問した市役所は、庁舎の上がホテルになっている。民間のホテルに建物を建ててもらい、そこに市役所が入るといった手法をとっている。市役所上部をマンションにしている事例もあり、時代の流れや要請を合わせながら、市役所周辺のあり方について検討していきたい。
- ・どこの街にも、美術館、博物館、図書館、大きなホールがある時代ではなくなってきたことはご理解いただきたい。
- ・広域で公共施設の利用を考える時代となっている。志太3市では広域での相互利用について検討をしている。

■新病院の建設について

- ・病院の設計については、公表するには至っていないが、お話できる範囲で申し上げると、建設する場所は、野田の病院の敷地内。東側の駐車場に建設する予定で、形状については使い勝手の良さ、動線を考慮していく。
- ・事業費は基本計画の段階では247億円となっている。東京オリンピックに伴う資材や人件費の高騰が懸念されていたが、そのような状況は現在確認されていない。しかし、できる限りのコストダウンをしていく。病床数は445床、診療科目はほぼ同じ。ドクターヘリを屋上に整備し、救急棟、健診センターの建物は残していく。救急棟は一階部分を透析センターとしたい。健診センターについては、24時間訪問看護ステーションを今年度から開始している。市内の開業医の高齢化に伴い、往診も厳しい状況にある中で、医師の指示書に基づきナースが医療行為をし、入院が必要であれば市民病院へ入院してもらう。
- ・この流れは、国は医療費が毎年1兆円も伸びている状況において、2025年（団塊の世代が全て後期高齢者となる年）を目途に、施設から在宅へという流れを考えている。介護保険制度の施行など施設へという流れを在宅へ戻すことは相当困難なことであると考えている。
- ・また、病院を丸ごと機能別で仕分けていくことを考えている。入院日数も14日（市民病院の平均）、を9日にしたいという制度改革も考えている。
- ・このような状況を踏まえて、24時間訪問看護ステーションや地域包括ケアへという動きが出てきている。
- ・余談になるが、C型肝炎の薬は一錠8万円で、3ヶ月服用しなければならず、3ヶ月で720万円掛かる。でも、国民健康保険があるから、個人負担は月2万円しかかからない。オプジーボという肺がんの薬が新薬の認証を受けたが、1年間薬を飲む必要があり、1年間で3,500万円の薬代が掛かる。これも、個人負担は月2万円しかかからない。国民健康保険の掛金が高いと言われるが、こうした薬が開発され認証を受けると、掛金も高くならざるを得なくなっている。このため、医療制度改革では薬価の見直しも検討している。

- ・病院建設だけでなく、医師の確保にも力を入れている。市民病院は京大系といわれてきた。新たなインターン制度は学生が自分で研修する場を選べる。学生の希望のほとんどが3大都市圏に集中する。このため、浜松医大と連携して、医師の派遣をお願いし、安定的な医師の確保を図ってきている。この10月には麻酔科に医師の派遣を受けている。来春も浜松医大から医師を派遣していただく見込みである。
- ・このように市民病院が市民の安心のよりどころになるように取り組んでいる。完成年度は32年度を予定しており、今年度中には詳細設計を皆様にお示しできるのではないかと考えている。

■ごみの最終処分場について

- ・来年の3月末をもって、最終処分場への受け入れを終了することは、先日の新聞でも報道された。
- ・これは、震災のがれきを受け入れたことに端を発するが、受け入れについては、被災者からみれば救いの手であったと思う。実際に測定した結果から、震災のがれきは放射能に汚染されていなかった。さらに安全性を高めるためゼオライトシートで覆ったが、地元の賛成を得る前に受け入れたことが要因で、受け入れを終了するに至った。
- ・私も地権者の方と交渉を続けてきたが、全ての賛同を得るといって、来年度以降の最終処分場の使用の条件には至らなかったため、今の処分場は年度末で閉鎖とすることを決めた。覆土をして、排水の状況等を確認し、安定していることを確認して県にお墨付きをいただいて、完全に最終処分場は閉鎖することになる。
- ・新たな最終処分場については、2年前から市内の6か所の候補地を選定して検討を重ねたが適地はなかった。
- ・来年の4月からは、外の処分施設に出すことになった。焼津、藤枝もそうしている状況である。外の処分施設に出すことについては御理解をいただきたい。

■行政（政治）の役割が変わってきていることについて

- ・行政、政治のかたちが20世紀とは違ってくることは先ほどお話したとおりである。
- ・これからのまちづくりに必要なのは地域の住民の力である。地域課題を行政と一緒に解決していくことにお力添えをいただきたい。
- ・例えば、道悦島の生活支援サービスについて、蛍光灯の取替え、火災報知機の設置などについて、地元の方がお手伝いするという取り組みで、1時間500円。お互いが助け合うということで取り組みをはじめたところもある。
- ・放課後児童クラブの運営を地元で行っているケースや放課後児童クラブ（隣接校）まで地元住民が児童を送っていく取り組みもある。
- ・交通弱者、買い物難民に対して、車や保険等を行政が支援して運行を地元でお願いする方法も検討されている。
- ・それぞれの地域において課題を解決していくことで、そこに住んでいて良かったと言える取り組みをしていかななくては、地域住民の不安は解消されない。
- ・ここを直してと行政に依頼するよりも、ここを直すから材料を用意してとすることであれば行政もすぐにでも対応できる。

- ・知恵を絞りながら地域の課題解決のために皆様のお力をお借りしたいと思っている。時代が変わる中、行政の仕組みも変わってきている中で、島田に対して、こんなにいいまちはないと言ってくれる方もいる。19 回目の赴任地となった警察署長はここが一番いいところだとお世辞抜きに言ってくれている。このまちの良さを継続していくために皆様のお力添えをいただきたい。
- ・目まぐるしく進歩する時代（人工知能や自動運転の技術）にあって、10 年先を読むことは難しいが、今までと同じ対応では済まされないことは確か。
- ・10 月の市政羅針盤に書いたが、地震の揺れで危険性が高い木造住宅が約 7,000 戸あることがわかった。耐震性がないと、建物倒壊による火災の発生が危惧され、避難時の道路をふさぐ、隣家に被害が及ぶなどの被害のリスクが高まる。
- ・こうしたことから、耐震化を推進するため、県内トップクラスの耐震補助の制度を行っている。
- ・市内に空き家が目立ち始めている。地域によっては3割が空き家になるとの国のデータもある。治安の問題など新たな課題も出てくることから、相続登記については確実に済ませておいてほしい。相続登記を放置しておくとも相続人が増え、名義を変える際、売却する際などにその相続人から判子や謄本などをもらう必要が出てくる。
- ・空き家も増えてくる中で、公共的に使いたいといった時にも、相続登記がされていない、時間が経ってできないなどの弊害が生じないように相続手続きは完了するように願います。

③質疑応答

番号	質問内容	回答内容
1	<p>■ローズアリーナの休みについて</p> <p>ローズアリーナの利用者がとても多い。高齢者も多く、健康のために通っている方が多い。月曜日が休みだが、例えば年末年始の休みだけにしてもらえないか検討いただきたい。</p>	<p>●私も課題だと思っている。公共施設の料金や開館時間については、全体的見直しを検討している。公共施設については、時代が変わってきて、指定管理（5年契約）で行っているが、月曜日の休みは施設のメンテナンスをする日でもある。休みを減らすことについては、月に1日くらいは休みが必要になるかもしれないが、できるだけ開館時間（開館日）を増やしていくということについて、いつからできるかということについては、今すぐにお約束はできないが、方向性としてはそのようにしていきたい。</p>
2	<p>■公共下水道の整備について</p> <p>島田市の公共下水道の普及率を上げるということは、インフラ整備の重要な要素ではないか。将来整備を行っていくのか、今のままでいくのかということ伺いたい。</p>	<p>●公共下水道の普及率は、島田市は県内でも低くなっている。これは、政策的に、ある時期において、公共下水道の整備よりも他の政策を優先してきたのだと思う。その代わりに、合併処理浄化槽の補助率を上げて、合併処理浄化槽を普及させてきた。公共下水道の新規の整備というのは、街の中が区画整理により拡大していくといった時代にはやりやすかった。</p>

		<p>古い街並みの道路が狭いようなところに整備を進めていくと、後で面的な整備が難しくなると思う。今後について、島田市は、公共下水道を今の計画以上に新規を拡大していくという計画は持っていない。国も、公共下水道を新規に造ることに対して補助を出すという時代は終わって、今は、古くなった公共下水道を更新することに対して補助を出す時代になった。公共下水道については、市単独で整備することも難しい。その代わりに、個別の合併処理浄化槽について、補助率を上げて普及を図っていききたい。また、その更新についても、補助を出すようにしていきたい。</p>
3	<p>■排水路の整備について</p> <p>公共下水はお金がかかるし、進めにくいことは十分理解している。そうした中、現在、単独浄化槽がかなり入っていると思われる。4月に川ざらいが行われ、名前は環境美化ということだが、公共下水道が来ているところは、川も暗渠になっている。川ざらいは、こちら（公共下水道が来ていないところ）ではリスクを抱えた負担（事業）になっている。そういう意味も含めて、公共下水道をやっつけていかないというなら、排水先の排水路を整備していただかないと、合併浄化槽を普及させても意味がないと思う。排水路は、ほとんどのところは昔のままである。特に、こちらのほうは、田んぼの排水路がそのまま水路になっているため、田んぼの水を流しているときは良いが、そうでない時は水の流れが悪くなり、異臭が出てしまう。</p>	<p>●特に、街の中では、水路に水が流れない時期の悪臭の問題であるとか、どうして暗渠にならないのかなど、そういった問題は他の地域でも話が出る。この課題については、十分認識をしているが、道路整備と一緒に進めていくという考えの中で、道路整備に対する国や県の補助もなかなか付かないため、市の計画も遅れていくこともあり、そういった中での水路の整備ではあるが、御意見はしっかり受けとめたので、しっかり検討していきたい。</p> <p>川ざらいについては、だんだん課題になってきている。高齢化してきて、一人暮らしになって、行きたくても行けないという人も出てくると思う。無理をして出て、怪我をしては大変なことになる。そうした中で、川ざらいのやり方や、あるいは一切やめても大丈夫なのかといったようなことも含めて、地元の意見を聞かせていただきたいと思う。川ざらいをするところもあれば、草むしりをするところもあり、環境整備といっている。これを、例えば、子どもも一緒に行うような日にすることも、私の頭の中にはある。大人の行事として今はやっているが、地域を愛するという気持ちを育てる意味でも、子どもも参加させるというのも一つの方法ではないかと思うが、川ざらいについては、みんなが土日休みで、みんなが昼間だけ働いているというような時代ではなくなったので、大きな課題であるという認識を持っている。</p>

4-1	<p>■水を流すことについて</p> <p>島田は水のまちと言われてきたが、田んぼの時期以外にも、水を年中流してもらいたい。</p>	<p>●大井川土地改良区の問題もあるが、水門を閉めてもらうことについて、市内の 59 箇所についてお願いをして、それ以外は市の職員が行っているが、とにかく島田は水のまちであり、水門の数も多く、これを大雨のたびに開けたり閉めたりして水害がおきないように調整をしていただいている。本当に長いこと続けていただいている。</p> <p>この話題については、大井川土地改良区と話をする機会に話題に出してみたい。</p>
4-2	<p>■水を流すことについて</p> <p>雨が降ったとき、水門を閉めにいく。そういう手間も順番で回ってくるが、雨の時に閉めに行くのが大変である。本当は水を流しておいたほうが良いが、そうしたことにより、誰が責任を取ってくれるのかわからない。</p>	
5	<p>■川の水について</p> <p>私の家のすぐ裏の川について、1時間くらい雨が降るとすぐにいっぱいになってしい、心配になることが何回もある。旗指の方から合流して一つの川に流れてくるが、怖い状況を何度も見ている。どうしたらいいものかと思っている。</p>	<p>●それは一度、都市基盤部が見に行き、説明させていただきたい。</p> <p>【検討事項1】</p>
6-1	<p>■道路改良について</p> <p>中溝の中部電力の近くの、旧国道の交差点から北へ行き、アポロンの前を通ってはなみずき通りにぶつかるまでの間の道について、交通量が多いわりに1車線しかない。道路改良をお願いしたいと思っている。</p>	<p>●（特に回答なし）</p>
6-2	<p>■道路改良について</p> <p>この件については、市へ要望書を出した。 （この発言により、6-1の質問者が了解した。）</p>	
7	<p>■新病院の建設予定地について</p> <p>新病院の建設予定地について、液状化の問題はないのか。</p>	<p>●過去にも40本くらいボーリング調査を行っている。今春、新たに6箇所調査を行った。病院の地盤は、確かに軟弱地盤であり、軟弱地盤は岩盤まで深い。一番深いところは岩盤まで30m強ある。しかし、それは粘土質であり、液状化の心配はほとんど無い。県の第四次被害想定でも、液状化の</p>

		<p>被害は少ないところとなっている。液状化というのは、砂と水が混ざって起こる。しかし、軟弱地盤のため、杭打ちが必要であり、地盤改良をすれば技術的に問題が無いということは、今春の設計会社のプレゼンテーションにおいても、何ら問題が無いという話をいただいているので、安心いただきたい。</p> <p>道路も、電信柱が倒れることが無いように、大津通りについては、電線の地中化を進めており、再来年の春には、地中化がほぼ完了すると思う。</p> <p>特に、病院までの路線については、最重要路線であるので、地震が起きた際の復旧作業について、どこの土建会社が行うかについての約束を行っており、病院までの道路はしっかり確保できるようになっている。</p>
8	<p>■水門操作について</p> <p>水門の関係で、水害を防ぐには、どの時点で水門を閉めるのか。その判断を個人に任せてしまうのか、それとも、行政から通知を出して指示ができるのか。</p>	<p>●水門の件についてはマニュアルがあると思うが、この件については確認する。【検討事項2】</p>
9	<p>■浄化槽について</p> <p>浄化槽の設置については、近くの農業の方が反対すると設置できないという時代があった。家を建てるにあたり、水の排水も考慮して建築許可を出していると思うが、農業関係の方にとっては、お金を出して水利権を持っているという状況もある。そのあたりのことも考慮しておかないと、トラブルとなる場合もあるのではないかな。</p> <p>現在は、単独浄化槽ではダメということになっていると思うが、合併浄化槽に替えるとなるとお金がかなりかかる。市の補助金が出ると思うがどのくらいの補助が出るのか。</p>	<p>●単独浄化槽から合併処理浄化槽に付替える場合は、65万円の補助が出る。また、新築や汲み取り式のトイレからの付替えは、一律21万円の補助となっている。この件については、市民の皆さんに知っていただくためには、今すぐというわけにはいかないかもしれないが、広報誌へ、私が市政羅針盤でふれるか、あるいは広報誌に特集を載せるなどして、みなさんに知っていただく努力をしたいと思う。</p>
10	<p>■道路の補修について</p> <p>道路の穴ぼこについて、埋めてもすぐに穴が開いてしまう。その穴の部分だけではなく、もう少し広く補修すれば度々補修する必要がなくなるのではないかな。</p>	<p>●繰り返し穴が開かないように広く補修するというのはよくわかる。</p> <p>生活道路の整備については、橋も市道も5年に1回の点検が義務付けられており、不都合があれば補修や改修をしなければならないということになっているため、5年間でローテーションを組んで、点検していくことは</p>

	<p>また、穴ぼこだらけの生活道路について、どのように整備していくのか。</p>	<p>続けていく。緊急性のあるものや、長寿命化にかかることについては、きちっと改善や改良をしていきたいと思う。ただ、1,180 kmという膨大な量で、しかも同じ頃に造った道路であるため、傷みも激しくなっている。生活道路についても、緊急性のあるものから順次やっていくが、全部をきれいにするというのも、なかなか難しい時代になってきているということも理解いただきたい。</p>
<p>11</p>	<p>■災害時の情報について 災害の問題について、一番の問題は情報をどのようにして流すかということ。(同報無線は)戸を閉めたら、ほとんど聞こえない。</p>	<p>●昔の家と違い、今の家は機密性が高いため、外の音がほとんど聞こえない。そうした中で、大きな地震の時などは、携帯全てに緊急地震速報を流す。また、行政も、エリアメールというもので全ての携帯に流す仕組みをつくっている。さらに、同報無線の内容については、電話で聞きなおすことができる。電話番号は37-5600。また、QRコードで読み込んでもらうことにより、同報無線のメール配信が自動で行われるようになる。手続きは簡単なもので、ぜひ御利用いただきたい。</p>
<p>12</p>	<p>■避難所について この地区はゲリラ豪雨で浸水する事が危惧される。避難準備情報や勧告が出ると避難所の島二中に避難するが、その島二中が危険地域になっている。島二中の裏が急傾斜地の危険区域に指定されている。島二中の建物は大丈夫だと思うが、そこへ行くまでの間、土石流などが出るかもしれない。避難したくても行けない可能性がある。この自治会館(はなみずき中央自治会館)は新築したが、とてもここだけでは避難者が入りきらない。自治会のエリア内には、おおりや保健福祉センターがあり、そこは避難場所としては使えないということだが、二中へ行けない場合は、そういった公共施設の一部を避難所として提供していただけないか。</p>	<p>●災害時に二中の体育館に避難するというのは、主に大地震の災害時だと思っている。ゲリラ豪雨などの際の避難場所については、家から離れて二中へ避難する必要があるかという、裏山が崩れるような場所で無い限り、我が家の二階に逃げるのが一番安心できる。夜、雨が強く降っている中、逃げて水路に落ちたりするかもしれない。</p> <p>2年前に、大雨で避難勧告を出したことがあるが、その時に避難所の体育館を開けて、避難する方を迎えたが、5人や10人といった人数だった。このように、大雨で逃げてくる人数は少ない。そういうときには、体育館よりも、むしろ公民館などの畳の部屋やテレビのあるところの方がずっと安心して、情報も入ってくる。</p> <p>どんな災害かによって、どこに逃げるかは変わってくる。</p> <p>避難場所ではないところに逃げたからといって、食べ物や物資が届かないことはない。</p> <p>大きな地震のとき、避難所に逃げるのは、家が潰れてそこに住めない人</p>

		<p>や、二次被害によって家が潰れてしまう可能性がある方が避難所に逃げる こととなる。</p> <p>体育館でも、せいぜい200人くらいしか長期にわたって滞在する事が できない。みんなが逃げられる場所はない。有事の際にも自宅にられるよ うな対策をとってもらいたい。家具の固定、飛散防止や備蓄品などとも に、家の耐震性を高めてほしい。耐震化については補助金も出している。</p> <p>災害時の逃げる訓練ばかりやっていたので、災害時には逃げるものだ とってしまうが、それは間違いであり、避難するのは家に住めなくなった 人だけなので、自宅にられるような準備をしてもらいたい。</p> <p>このことについては、出前講座もするし、避難計画の作成も行政が 手伝いをさせていただくことができるため、危機管理課へ連絡してほしい。 ※危機管理部より後日補足</p> <p>尚、二中の避難所については、北側の急傾斜地崩壊防止の工事を、平成 29年度から逐次開始し、平成32年度中には工事を完了する見込みとな っている。</p>
13	<p>■県道沿いの清掃について</p> <p>県道沿いのグレーチングの中から草が出ている。国道だった時には、 国から掃除に来てくれていたが、県道になってからはぜんぜん来てくれ ていない。また、グレーチングの中に砂が溜まっていて水はけも悪くな ると思う。川ざらいのときにも、そういうところはボルトで留めてある ので開けて掃除することができない。どうしたら良いかと思っている。</p>	<p>●県土木事務所へは話をさせていただくが、県も浚渫しなければならない ところもなかなか事業が進まないという状況である。ボルトで留めてある ところについては、地元の方が管理できないという中で、地元からも要望 が上がって、質問が上がっているということを伝えていく。</p>
14-1	<p>■子どもに関することについて</p> <p>今の国の状況は、男女雇用機会均等法にはじまり、女性が社会に進出 して、女性の雇用をもっと広めようという動きがある。</p> <p>島田学園附属幼稚園が3年後くらいに子ども園をつくって保育所も やっていくということで、そういう流れは、女性をどんどん働かせよう という動きになっており、働かないお母さんはダメだということになっ</p>	<p>●私もずっと家にいて3人の子育てをしてきた。そういう時代を私も生き てきたが、今、お母さんたちが働かないと食べていけないという雇用体系 の時代になった。昔は、お父さんが働き、家事はお母さんが全部やるとい うような、役割分担をするような時代だった。</p> <p>人口が減少し、高齢化が進むと、働く人たちが人口の半分くらいまで減 ってしまう。生産性を上げていかないと、日本は生き残れないため、生産</p>

	<p>ているように思える。</p> <p>そのようにどんどん働くようになり、子どもを保育所に預けるようになると、子どもが初めて歩くときの姿も見れないのではないかと思う。</p> <p>働き始めると、家事に追われて子どもとゆっくり話す時間もなくなるし、子どもの情緒的にも良くないことだと思う。</p> <p>島田は、そのようなことが無いように、お母さんが子どもと、ゆっくり3歳くらいまでは家で過ごせるような支援をしていただきたい。</p> <p>子どもの遊び場が少ない。他市の大きな公園に車で遊びに行ってしまう。こども館も、雨が降ると駐車場がいっぱいで路上駐車されている状況である。こういったことに対して、今後どうして行くかということも教えてほしい。</p>	<p>性を上げるために、女性に働いてもらい、健康であれば75歳まで働いてもらい、外国人も入れていこうという考えを国はもっている。</p> <p>ただ、働いていないお母さんが惨めだとか、肩身が狭いとか、そんな世の中であってはいけない。国の子育て支援というのは、働いているお母さんのための支援が主である。でも、島田は、家にいて一生懸命子育てしているお母さんこそが、子育て支援が必要だと思っている。24時間子どもと向き合っているお母さんは、いろいろなストレスを受けて、世の中から隔離されているような思いをしている方もいる。家で子育てしている方や育休中の方たちに対して、親育てをしっかりとやっていくということを島田の子育て支援の特色にしており、県内でもトップだと自負している。</p> <p>島田学園附属幼稚園の子ども園の話は確かにあるが、いきなり0歳児を預かるという経験が無いため、たぶん、2～3歳児から預かるということだと思う。</p> <p>島田は待機児童が多く、来年度中に、向谷に0～2歳児を預かる保育園を造る話を進めている。また、同じような保育園をもう1箇所造りたいと思っていて、これは市の土地を提供して、民間の方に運営をしていただき、建設の補助もするなかで保育園の建設を進めていただくということで話が進んでいる。平成29年度中には、待機児童を0にしたいという目標で進めている。</p> <p>お母さんの中には、働きに出たい方もいる。いろんな価値観がある中で、「子どもを真ん中に子育て応援都市島田」というキャッチフレーズのもと、ただ便利にするだけではなくて、子どもや親にとって何が良いのかを考えながら子育て応援都市をつくっていきたい。</p>
14-2	<p>■子どもに関することについて 待機児童は島田に何人くらいいるのか。</p>	<p>●月ごとに変わっていくが、今年度一番多くて27人だったと思う。</p>
14-3	<p>■子どもに関することについて 待機児童の数からすると、保育所を造ると定員が割れてしまうのでは</p>	<p>●この待機児童の数というのは、法律に照らし合わせた待機児童の数であり、子どもを預けて働きに出たいというニーズは100人を越える人数だと</p>

	ないか。	<p>思う。また、島田に來れば保育園に入れるということは、若い世代の方たちに島田を選んでいただくための大きな施策にもなる。</p>
15	<p>■人を集める建物について</p> <p>島田に市民会館が無くなって、今の若者はミュージコなどに行ってしまう。多くの人が出て行ってしまふ。島田に大きな建物（ホール）を建てて、島田に人が集まるようにしてもらいたい。</p> <p>映画館へ行くのも、子どもたちは藤枝へ行ってしまう。島田へ人を集めるという対策についてはどのように考えているか。</p>	<p>●広域でいろいろな建物を使わせていただいているのが現状である。逆に、島田にしかないということで選んでいただいているものもある。</p> <p>島田のまちの特徴について、大学へ行くような年代の方は少し減っているが、子育て世代は増えている。子どもを持つ人達にとっては選ばれるまちだと思ふ。また、結婚している人たちは、平均2人以上のこどもを産んでいるのも島田の特徴であり、子育てしやすいまちだと思ふ。</p> <p>一方で、晩婚、未婚の問題が大きく、合計特殊出生率が1.51ということではあるが、六合や初倉は分譲住宅の売れ行きがよく、若い人達や子どもの数が増えてきている。</p> <p>若い人たちにここに来てもらうためには、仕事と住むところが無いといけないと思っている。仕事について、大学を卒業した女性の方たちが帰ってきて専門性を生かして就職するところが、静岡県内にはほとんど無く、それも帰ってこれない一つの理由だと思ふ。</p> <p>おび通りに若い人たちや外からたくさん集まってもらえるような場所に行かないかと思っている。おび通りは島田市道のため、お店を出そうとすると、警察の許可が必要になる。市道の上に緑地指定をかけて、広場としても使えないかということで、検討を進めており、週末ごとに何らかのイベントが開催できるようにしていきたいと思っている。</p> <p>ローズアリーナなどは、よそから多くの人を集めている場所でもある。</p> <p>映画館が藤枝のBIVIよりも先に島田にあればよかったが、そうではないので、映画館を島田に造る需要は無いと思ふ。</p> <p>民間は、行政がお願いしなくても、そこに需要があればどんどん押し寄せてくる。</p> <p>ぴ〜ファイブの1階が長いこと使われていない。パチンコ屋仕様になっているので、搬入口も無く、レストランやコンビニやスーパーなどに使え</p>

		ず、家賃などの問題もあり、ずっとテナントが入らなかった。こういった場所をどうしていったら良いか行政も考えながら、若い人にとって魅力となるように検討していきたい。
16	<p>■要望書を出す前の市役所の窓口について</p> <p>道路の補修等、市へお願いする制度として要望書があるが、要望書を出す前に、市民目線でアドバイスをしてくれるような窓口があればと思う。市役所の今の受け入れ方というのは、地権者の了承を得ているかということが先に出てきて、話が先に進まない。一緒になって現場をみて検討してくれる窓口をお願いできればと思う。</p>	<p>●特別な部署をつくらなくても、行政はそれをやらなければならない。日頃から職員に「仕事の先に市民の顔が見えますか」ということをいつも言っている。市民の顔が見えれば、対応や言葉使いも当然変わってくる。そのことについて、徹底して意識改革を進めているところである。</p> <p>要望書については、要望書をいただいたときに、関係する部署をチームにして、要望をいただいた自治会にうかがわせていただき、その要望箇所を見させていただいていると思う。</p> <p>要望書を出す前に、担当部署に相談いただきたい。担当部署がわからなければ、協働推進課に話をさせていただければ、協働推進課から担当部署へ話をする。</p>
17	<p>■はなみずき中央自治会に關係する島田市有地について</p> <p>はなみずき中央自治会に關係する島田市有地について、3個所ある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コンコルド跡地 2 旗指の市営住宅跡地 3 市民会館跡地 <p>市民会館跡地については今後の計画や市の方針を聞いたのでわかった。</p> <p>旗指の市営住宅跡地については、自治会の公園として一部お借りした。そこについては分譲すると聞いたが、その後、どのようにすすめていくのか。</p> <p>コンコルドの跡地をどうするのか。</p> <p>市から借りていた古い会館の跡地については、新しい会館を建てるにあたり、市へお返ししたが、その後、自治会として草刈をしていないと</p>	<p>●コンコルドの跡地については、そこから東側の静銀の先まで、大雨が降ると水が出やすいところだったため、調整池を造った。ここは、せっかくの土地で、そのまましておくのはもったいないが、そのままにしてあったのは、大きなイベント時には市の駐車場としていたからであり、市民会館跡地が駐車場として利用できるようになる段階で、目的を定めて売却したい。</p> <p>旗指の市営住宅跡地については、調べてお返事する。【検討事項3】</p> <p>草刈については、市も全くしていないわけではないが、実はこのような土地がものすごくある。例えば、初倉にもみどり幼稚園の跡地があり、行政も草刈に出ているが、それ以外に、朝5時から初倉地区全体の自治会長や役員の方たちに出させていただいて草刈をしてもらうといったように、本当に地元の方たちにお世話になりながら何とか維持しているといった状況となっている。</p>

<p>地元の人達から苦情が来ている。自治会としては、市へ返した土地なので、草が生えているようなら刈っていただきたい。</p>	<p>先日も、大井川の鉄橋の下の草についてお叱りを受けて、草刈りしますと答え、すぐに草刈りをしたが、その後、そこにいったらまた草が生えていたため、草刈りをやっていないじゃないかとまたお叱りを受けた。担当に確認したら、草刈りはやったということだったが、夏場は1ヶ月でまた草が生えてきてしまう。</p> <p>このような状況でもあり、市有地全部について市が草刈りを行うというのはなかなか難しい。市も、財政課の職員が、首にタオルを巻いて草刈りに出かけているが、すべてをみなさんのご期待のとおり草刈りするのは難しいということも事実であるため、人を雇って草刈りを行うのかどうするのかということについては検討していきたいが、公園の一部では、年間の管理費をお支払して草刈りをお願いしているようなところもある。</p>
--	---

※ 回答は全て市長から回答した。

④当日の様子



⑤検討事項に対する対応（報告）

質疑応答番号 検討事項番号	検討内容（市長の発言）	市からの回答（対応状況）
5 検討事項 1	<p>●それは一度、都市基盤部が見に行き、説明させていただきたい。 【検討事項 1】</p>	<p>■検討事項 1・2は関連すると思われるので、一括回答とさせていただきます。</p> <p>貴自治会を流れる水路の取水は主として伊太谷川に沿った取水口（水門）から行っています。伊太谷川の水門管理は、大井川土地改良区で実施しており、この件について問い合わせたところ、各水門に管理人を置いており、その方々に随時連絡して操作をお願いしているとのことでした。</p> <p>また、改良区においてマニュアルは持っておらず、口頭での説明と指示を行っているとのことでした。</p>
8 検討事項 2	<p>●水門の件についてはマニュアルがあると思うが、この件については確認する。 【検討事項 2】</p>	<p>改良区で管理している以外の水門は、気象予報にて島田市に対し注意報が発表された場合や気象レーダーにより激しい降雨が予想される場合、冠水による水害を防ぐため、基本的に島田市水防班が水門操作を行うこととなっているため、一部を除き通常は市が水門管理人としてお願いしている方の操作は不要としています。</p> <p>市では、水門操作に関するマニュアルも整備しており、各管理人の皆様にも説明の上配布をしてあります。</p> <p>いずれにしましても、降雨時の対応につきましては、引き続き改良区と連携を図るとともに、最近のゲリラ豪雨等、以前と比較しても短時間で集中的な降雨がありますので、改めて降雨時に現場の状況を確認させていただきたいと思えます。</p>

<p>17 検討事項3</p>	<p>●旗指の市営住宅跡地については、調べてお返事する。 【検討事項3】</p>	<p>■当該地は平成 26 年度に売払い入札の公募を行いました但し応札者がなかったため、価格の見直しを行い、再度売払いを実施していく予定です。なお、当該地に隣接する土地（私有地）への進入路が狭い箇所があるため、当該地の一部を道路用地として分筆し、再度面積を確定させた上で売却してまいります。</p>
---------------------	--	---